

PLAN	No.	6	—	1	基本事務事業名	普通財産管理事務		事務事業名	普通財産管理事務		公的関与	2	シート作成日	令和6年6月26日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課		主務課長名	神月 顕仁		シート作成者名	三上 武士				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☒ 1 該当		令和	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		普通財産												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	普通財産の効率的な有効活用を図ります。												
			今年度	普通財産の効率的な有効活用を図ります。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 土地・建物等、普通財産の売却															
	② 普通財産の貸付															
	③ 公有財産処分等検討委員会の開催															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標						
			利活用実施件数			目標	1	1	1							
							実績	2	1							
						目標										
							実績									
						目標										
							実績									
	D O															
予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費			
直接事業費			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考							
	国庫支出金		千円		千円		千円									
	県支出金		千円		千円		千円									
	地方債		千円		千円		千円									
	その他特定財源		千円		千円		千円									
	一般財源		1,539 千円		1,350 千円		2,675 千円									
	計(A)		1,539 千円		1,350 千円		2,675 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.750 人	4,532 千円	0.750 人	4,545 千円	0.750 人	4,464 千円							
		会計年度任用職員職種														
		会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		6,071 千円		5,895 千円		7,139 千円										

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	未利用の市有地については有効活用を図る手段として、売却や貸付を行う必要があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	公有財産管理システム等を活用し貸付・売却可能な公有財産を把握します。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	好条件の物件が少なくなっており、売却や新たな貸付けなどの、成果は上がりにくいです。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	インターネットによる入札手続きや、他の施策との連携など、改善の余地はあります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 3	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	貸付可能な公有財産を貸付します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	今後も継続して事業を進めていきます。					近隣の動向の把握に努めるとともに、今後も適正管理に努めます。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	6	—	2	基本事務事業名	本庁舎管理事務	事務事業名	本庁舎管理事務	公的関与	2	シート作成日	令和6年6月26日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	神月 顕仁	シート作成者名	三上 武士				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☐ 1 該当		令和 年	～	令和 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策						☒ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	庁舎											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	庁舎を長期間にわたり使える状態を保っていく。										
			今年度	庁舎の適正な維持管理と修繕、庁舎内の共有の消耗品購入										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 庁舎維持管理業務													
	② 庁舎電話維持管理業務													
	③ 建物・設備の修繕													
	④ 庁舎内で使うコピー用紙をはじめとする消耗品の購入													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標						
		指標設定になじまないため設定しない。		目標										
				実績										
				目標										
				実績										
				目標										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 4 年度決算			令和 5 年度決算			令和 6 年度予算			備考		
	直接事業費	国庫支出金	千円			千円			千円					
		県支出金	千円			千円			千円					
		地方債	千円			千円			千円					
		その他特定財源	千円			千円			千円					
		一般財源	77,851 千円			90,847 千円			111,642 千円					
		計(A)	77,851 千円			90,847 千円			111,642 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	6,042 千円		1.000 人	6,060 千円		1.000 人	5,953 千円				
		会計年度任用職員職種												
		会計年度任用職員工数・経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円				
	全体事業費(A+B)		83,893 千円			96,907 千円			117,595 千円					

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	庁舎の維持管理に不具合があれば、市の事務事業に大きな支障がでるため必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	庁舎を長期間にわたり使用するため、適切な保守や修繕は有効です。また庁内で使う消耗品を一括購入することで経費削減につながります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	必要な保守点検や修繕については、予算を確保し実施しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	庁舎維持管理業務については、隣接するアエルワと一元管理することで、効率化を図っています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	竣工から10年が経過し、設備の老朽化が出始めています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	適切な維持管理ができるよう予算の確保に努めます。									
委員会指摘事項											

PLAN	No.	6	—	3	基本事務事業名	公用車管理事務	事務事業名	公用車管理事務	公的関与	3	シート作成日	令和6年6月26日				
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	神月 顕仁	シート作成者名	三上 武士						
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☒ 1 該当		令和 年	~	令和 年	☒ 期間設定なし			
		主要施策		(2) 持続可能な財政運営の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	公用車													
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	安全かつ効率的に使用できるようにします。												
			今年度	安全かつ効率的に使用できるようにします。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 公用車の貸出															
	② 公用車の法定点検(車検)整備・修理															
	③ 公用車の台数管理															
	④ 自動車損害共済(事故等処理手続)															
	⑤ 車両の購入・廃車・売却等															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標								
	クリーンエネルギー自動車の 公用車への導入		台数	目標	0	0	1									
				実績	0	0										
				目標												
				実績												
				目標												
			実績													
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費	
			令和 4 年度決算				令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円					
		県支出金			千円			千円			千円					
		地方債			千円			千円			千円					
		その他特定財源			千円			千円			千円					
		一般財源	15,864		千円	16,296		千円	22,303		千円					
		計(A)	15,864		千円	16,296		千円	22,303		千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500	人	3,021	千円	0.500	人	3,030	千円	0.500	人	2,976	千円		
		会計年度任用職員職種														
		会計年度任用職員工数・経費		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円		
	全体事業費(A+B)				18,885	千円			19,326	千円			25,279	千円		

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。		☐ 少ない	☒ 大きい	安全かつ効率的な公用車の使用に必要です。		☐ 少ない	☒ 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。		☐ ない	☒ ある			☐ ない	☒ ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。		☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。		☐ いる	☒ いない			☐ いる	☒ いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。		☐ いえない	☒ いえる	職員は、グループウェアにより貸付予約ができます。また、定期的な整備により安全性が確保されています。		☐ いえない	☒ いえる		
		2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。		☐ いえない	☒ いえる			☐ いえない	☒ いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。		☐ する	☒ しない			☐ する	☒ しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		☐ できない	☒ できる			☐ できない	☒ できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。		☐ 目標に比べて劣っている	集中管理により全体数の不足は解消されています。		☐ 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。		☐ あまり上がっていない			☐ あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。		☐ 概ね達成している			☐ 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。		☒ 十分達成している			☒ 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。		☐ 高い	☒ 適当	効率的な運用により、経費を削減します。		☐ 高い	☒ 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。		☐ できる	☒ できない			☐ できる	☒ できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。		☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。		☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない		
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	老朽化が著しく使用頻度の少ない車両を廃車し、環境負荷の少ないクリーンエネルギー車等へ順次入れ替えをし、適正な配置を図っていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	管財担当で公用車の一元管理を継続します。					計画を立て年次的に入替をします。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	6	—	4	基本事務事業名	指定管理者選定事務	事務事業名	指定管理者選定事務	公的関与	3	シート作成日	令和6年6月26日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	神月 顕仁		シート作成者名	三上 武士			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4)協働のまちづくりの推進				☒ 1 該当		令和 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(1)多様な分野における参画・協働の促進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		公の施設の管理者										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	指定管理者制度を導入することにより、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応し、公の施設の管理に民間の能力やノウハウを幅広く活用しつつ、市民サービスの向上及び行政コストの削減を図ります。									
				今年度	指定管理施設のモニタリング									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 指定管理者選定委員会事務													
	② 業務委託等の募集・発注事務													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
	指定管理者導入施設					目標	66	66	66					
						実績	67	67						
						目標								
						実績								
						目標								
実績														
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	19 千円		37 千円		0 千円							
		計(A)	19 千円		37 千円		0 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,208 千円	0.200 人	1,212 千円	0.200 人	1,191 千円						
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		1,227 千円		1,249 千円		1,191 千円								

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	民間活力を導入するためには必要な制度です。		☐ 少ない	☒ 大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある			☐ ない	☒ ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない			☐ いる	☒ いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	市民へのサービス向上につながるものです。		☐ いえない	☒ いえる				
	2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる			☐ いえない	☒ いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない			☐ する	☒ しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる			☐ できない	☒ できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	可能な施設については、ほぼ導入されています		☐ 目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない			☐ あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している			☐ 概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している			☒ 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	民間ノウハウの導入により管理運営の効率化が図れます。		☐ 高い	☒ 適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない			☐ できる	☒ できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		
	当面の課題	指定管理者が行うサービスの質を向上させ、市民の満足度をさらに高めることや、適正な運営管理ができていくか市が確認していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	モニタリング制度を的確に運用し、指定管理者が行う自己評価や、市が行う年次評価を行います。					計画的に維持管理を進めます。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	6	—	5	基本事務事業名	公共施設マネジメント事業	事務事業名	公共施設マネジメント事業	公的関与	2	シート作成日	令和6年6月26日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	神月 顕仁		シート作成者名	三上 武士			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☒ 1 該当		平成 26 年 ~	令和 年	☐ 期間設定なし		
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		公共施設及びインフラ施設										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	数量適正化、施設長寿命化									
				今年度	公共施設等総合管理計画、公共施設個別管理計画の推進									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 公共施設の統廃合及び維持管理に関する総合的な計画策定と運用推進													
	② 遊休施設等についての利活用の推進													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
	公共施設の延床面積					目標	220,000		218,000					
						実績	216,096	216,178						
						目標								
						実績								
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	2,090 千円		0 千円		0 千円							
		計(A)	2,090 千円		0 千円		0 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,511 千円	0.250 人	1,515 千円	0.250 人	1,488 千円						
		会計年度任用職員職種												
		会計年度任用職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		3,601 千円		1,515 千円		1,488 千円							

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	公共施設等総合管理計画については総務省より各自治体に要請があり、今後の財政状況、人口動向、施設老朽化の進行を踏まえ令和3年度に改定しています。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	公共施設全体の管理計画として有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	今後は計画を実行段階に移していくことが重要です。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	PDCAサイクルを実施し、計画のフォローアップを図ります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	公共施設マネジメント推進のため、各施設所管課に計画の周知をはかります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	個別管理計画に基づき、関係所管課と連携しながら進めてまいります。					計画の進捗状況を把握しながら進めます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	6	—	6	基本事務事業名	市民文化系施設管理運営事務	事務事業名	市民文化系施設管理運営事務	公的関与	2	シート作成日	令和6年6月26日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	神月 顕仁		シート作成者名	三上 武士			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進				☐ 1 該当		令和 2 年 ~	令和 年	☐ 期間設定なし		
		主要施策		(2)コミュニティ施設の整備				☒ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		交流防災拠点施設アエルワ、阿波地域交流センター、市場コミュニティセンター、市場住民センター										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	市民の交流及び活動の充実を図ります。									
				今年度	適切な維持管理を行い、市民の文化交流の場を提供します。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 交流防災拠点施設アエルワに関すること													
	② 阿波地域交流センターに関すること													
	③ 市場コミュニティーセンターに関すること													
	④ 市場住民センターに関すること													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
			指標設定になじまないため 設定しない。			目標								
						実績								
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		その他特定財源については、阿波地域交流センターの貸付料等					
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	9,394 千円		9,731 千円		9,731 千円							
		一般財源	61,208 千円		69,089 千円		70,168 千円							
		計(A)	70,602 千円		78,820 千円		79,899 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.750 人	4,532 千円	0.750 人	4,545 千円	0.750 人	4,464 千円						
		会計年度任用職員職種												
		会計年度任用職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		75,134 千円		83,365 千円		84,363 千円							

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	市民の交流及び活動の場とし必要な施設です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	市民自ら活動することができる場所として有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	地域のまちづくり団体など各種団体の研修会や総会等に利用されています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	阿波支所と連携することで、人員やコスト削減に努めています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		
	当面の課題	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、施設の利用促進を図る必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	市ホームページ等で地域交流センター施設概要を紹介するなど、施設の利用促進を図ります。					各種コミュニティ組織の活動の場となるよう、施設の管理運営に努めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	6	—	7	基本事務事業名	土成健康センター管理運営事務	事務事業名	土成健康センター管理運営事務	公的関与	2	シート作成日	令和6年6月26日			
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	神月 顕仁		シート作成者名	三上 武士				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☐ 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	☐ 期間設定なし			
		主要施策		(1) 市民主体の健康づくり活動の促進				☒ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		土成健康センター											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	市民の健康増進と地域活性化を図ります。										
				今年度	温浴施設を核とした健康と交流の拠点施設として、市民の健康及び地域活性化を図ります。。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 指定管理者制度による施設管理運営業務の委託														
	② 業務遂行確認														
	③ 管理運営業務の評価・指導														
	④ 施設等修繕(市と指定管理者のリスク分担により実施)														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標					
			指標設定になじまないため 設定しない。			目標									
						実績									
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	16,901 千円		12,815 千円		16,992 千円								
		一般財源	千円		千円		千円								
		計(A)	16,901 千円		12,815 千円		16,992 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,021 千円	0.500 人	3,030 千円	0.500 人	2,976 千円							
		会計年度任用職員職種													
		会計年度任用職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		19,922 千円		15,845 千円		19,968 千円								

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	市民の健康増進及び地域活性化に必要な施設です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	市民の身体、こころ等の健康づくりができる施設として有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	市民の健康づくり、地域産業の振興に寄与しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	指定管理者制度を導入し効率的かつ効果的な運営を行います。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	施設を維持管理していくためには、計画的に建物及び設備の更新を行っていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	指定管理者との協議を重ねながら施設の維持管理に努め、市民の健康づくりに貢献するよう取り組みます。					民間企業のノウハウを活用し、効率的かつ効果的な管理運営に努めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

P L A N	No.	6	—	8	基本事務事業名	電子入札事務	事務事業名	電子入札事務	公的関与	2	シート作成日	令和6年6月5日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	神月 顕仁		シート作成者名	前仲 恭介			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		5. 明日への基盤が整った阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3) 情報化・デジタル化の推進				☒ 1 該当		令和 年	～	令和 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(2) 行政内部のICT環境の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		建設工事、測量・建設コンサルタント等業務の入札参加業者										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	毎年度の電子入札対象案件を電子入札で実施できている。 より効率的で迅速な方法への改善の検討が行われている。										
			今年度	令和6年度の電子入札対象案件を電子入札で実施します。 より効率的で迅速な方法への改善を検討していきます。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 電子入札システムへ工事、業務委託案件データを登録													
	② 阿波市ホームページでの入札情報の公表(入札公告、入札閲覧資料、入札結果)													
	③ 電子入札システムでの開札処理(指名通知発送、開札処理)													
	④ 入札制度の改善													
	⑤ 建設工事審査委員会等の開催													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
			指標設定になじまないため			目標								
						実績								
						目標								
						実績								
						目標								
D O	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	2,038 千円		1,893 千円		2,200 千円							
		計(A)	2,038 千円		1,893 千円		2,200 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.650 人	3,928 千円	0.650 人	3,939 千円	0.650 人	3,869 千円						
		会計年度任用職員職種												
		会計年度任用職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		5,966 千円		5,832 千円		6,069 千円							

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	入札参加者が入札会場に来る必要がなくなります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	入札の公平性を図るために有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	システムの現状も把握しつつ、より効果的な方法を検討していきます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	関係者と協議しながら、より効率的な方法を検討していきます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		
	当面の課題	入札案件が大量となった場合、担当者の処置が追いつかなくなるため、より効率的な方法や、より計画的な発注を検討していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	上記課題を改善できるよう現状を正しく把握し、改善方法を検討していきます。					徳島県のシステムを活用し、適正な事務が執行されています。今後も継続します。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	6	—	9	基本事務事業名	入札参加資格申請審査事務	事務事業名	入札参加資格申請審査事務	公的関与	2	シート作成日	令和6年6月5日			
	部局名	企画総務部				課名	契約管財課	主務課長名	神月 顕仁		シート作成者名	前仲 恭介			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		該当なし				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)						☐ 1 該当		令和	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策						☒ 2 非該当		根拠法令等		地方自治法施行令第167条の5第1項及び第167条の11第2項			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		入札参加資格申請業者											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	申請書の内容を審査し、有資格者が名簿に登録されている。 より効率的で迅速な名簿確定方法への改善の検討が行われている。										
				今年度	申請書の内容を審査し、有資格者を名簿に登録します。 より効率的で迅速な名簿確定方法への改善を検討します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 申請書の審査(1月中旬から受付開始予定)														
	② 入札参加有資格業者名簿に登録														
	③ 業者格付等の各種帳票作成														
	④ 追加受付の実施(8月中旬から受付開始予定)														
	⑤ 入札参加資格審査申請変更届の受付(随時)														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標					
			指標設定になじまないため			目標									
						実績									
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	660 千円		660 千円		660 千円								
		計(A)	660 千円		660 千円		660 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	6,042 千円	1.000 人	6,060 千円	1.000 人	5,953 千円							
		会計年度任用職員職種													
		会計年度任用職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		6,702 千円		6,720 千円		6,613 千円								

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	入札業者の選定には、必ず必要とされます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	入札の公平性を図るために有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマナー化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	厳正に書類審査等を実施しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	徳島県及び近隣市町村の事務を参照しながら、より効率よく処理できるか検討していきます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	1 名簿の確定期間の短縮 2 申請書、添付書類の簡素化					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	上記課題を改善できるよう現状を正しく把握し、改善方法を検討していきます。					適正な事務執行がなされています。改善すべきところは改善に努めます。				
	委員会指摘事項										